

苫小牧市立清水小学校学校だより

# 清水の子



『未来を創造する  
清水の子の育成』

◇学びを広げる子  
◇思いやりあふれる子  
◇たくましさみなぎる子

第 8 号 令和3年10月25日発行

TEL 33-7285  
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

## 集団の中で育まれる力



校長 堀田 稔

新型コロナウイルスの感染者も減少に転じ、10月から長かった緊急事態宣言も解除されました。再度の感染拡大に備え、学校の中では、気を抜かずに様々なことに取り組んでいくことには変わりありません。そんな中ではありますが、保護者の方々に学校に招き、学芸会を実施することができました。感染対策にご理解とご協力いただき心より感謝申し上げます。子ども達もより良いものを皆さんに披露しようと「単なる学級で一緒に協力する集団」としての動きではなく「自分と相手のこと、そして全体を考え心から動く集団」として学芸会の練習などに取り組む様子が多く見られとても微笑ましく思いました。

### 自分と違う意見を大切にできる人

仲間を認め合い、一人ひとりがより高みを目指せる集団になるには「反論する人の意見を大切にしておられる人」になれるかどうか重要です。ある学年練習の様子を見ると、「こうしたほうがいいよ」「こんな風にしたら」「練習しようよ、一緒に」などの声掛けが見られました。素直に受け入れる子、反論する子などがいます。けんかになりそうな場面も見かけましたが「チーム」から「仲間」へと意識を変え、お互いの意見を交換していました。反論する子や意見を言う子を大切に思い、自分も周りもよりよく育っていると感じる場面が多く見られ、とてもうれしく思いました。

### これから生き抜く子供たちの成長のために

昔は「言われたことを言われたとおりにやっごらん。そうすると力が付いていく。」と、よく言われたものでした。しかし、初めはそれでいいですが、自分で考え、または、見つけ動き、自分から提案できる人でないと、これからの時代は生き抜いていけないと、今は言われています。では、どうやって「探求し提案する力」をつけていくか。それは、子ども達のやってみようと思う気持ちと好奇心をつぶさないということだそうです。そうすることにより「挑戦して、多くのことを体験し、失敗等から学ぶ」「なぜ・どうして」が次々と生まれ「観察力」や「気付く力」そして「考える力」が育つと考えられています。

強い人やリーダーの能力を超えていくのが未来を生きる子ども達です。その力を停滞・衰退、退化させていってはいけないと考えています。違いを大切にでき、自分も周りもよりよくするために、聞く耳を持ち、自ら提案してより良いものを作り上げていける力をつけさせるために、今後とも、学校地域ご家庭が共通理解のもと、集団の活動を通して「将来に生きる力」を育んでいきたいと考えています。